

岩木川ダム 統管だより

062号
2022年
(令和4年)
6月30日



浅瀬石川ダム・津軽ダム ダム警報訓練を実施

令和4年6月8日(水)と9日(木)の2日間、当岩木川ダム統管理事務所が管理する“浅瀬石川ダム”と“津軽ダム”で、大規模洪水を想定した【ダム警報訓練】を実施しました。この訓練は、①スピーカによる音声放送、②サイレンによる吹鳴(すいめい)、③住民参加型避難行動訓練、の3つの内容で行いました。同様の訓練を昨年度は、【ダム吹鳴試験】として行いましたが、今回は当初から『住民参加型避難行動訓練』を併せて実施することから名称が変更となっています。

津軽ダムでは6月8日(水)9時から試験を開始、上流から順に全5箇所のスピーカで「※緊急放流」の際に流す案内放送を行い、その後60秒間のサイレンを繰り返し3回鳴らして近隣住民に“確実に情報が伝わるか”や“音の届き方”などを確認しました。翌9日(木)は、浅瀬石川ダムとその下流26箇所の警報所において同様の訓練を実施しました。

また昨年は黒石市および西目屋村でのみ行っていた“住民参加型避難行動訓練”を、各沿川自治体の協力のもと西目屋村居森平警報所近隣住民・黒石市富岡警報所近隣住民・田舎館村枝川警報所近隣住民・藤崎町真那板警報所近隣住民と、範囲を広げて実施しました。各地区とも多くの方に参加いただき、避難後のアンケート記入や懇談会等で、このような訓練は定期的に必要なという声を多く頂きました。(アンケート結果は、次ページに掲載)

このダム警報訓練は、来年以降も避難行動訓練の地域を移しながら実施して参ります。今回の訓練実施地域以外の方におかれましても、各自治体が発行する防災マップや当事務所がホームページで公開している1000年に1度を想定した「浸水想定図」を洪水期前のこの機会にご確認いただき、皆様の防災意識の向上にお役立てください。

※「緊急放流」とは、計画以上の洪水によりダム湖に貯められなくなり、ダム湖に流れ込む水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

いのちとくらしをまもる
防災減災

ダム警報訓練・住民参加型避難行動訓練アンケート調査結果

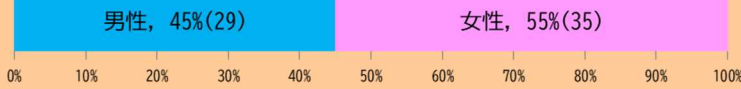
浅瀬石川ダム・津軽ダムの「警報訓練及び避難行動訓練」について、訓練参加者を対象にアンケート調査を実施

アンケート回答者

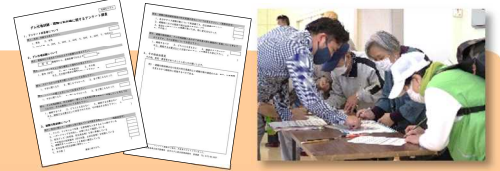
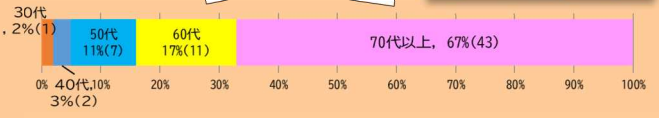
◆ 問1. 性別、年齢

※アンケート回答者数 64名
 西目屋村 3名 黒石市 34名
 田舎館村 11名 藤崎町 16名

【性別】



【年齢】

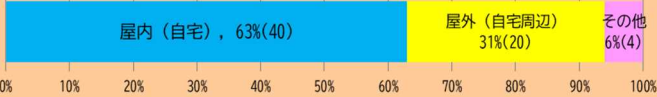


ダム警報訓練

◆ 問2. 警報所から自宅までのおおよその距離

→ 平均 約520m

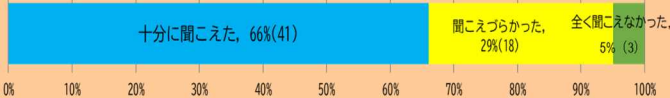
◆ 問3. スピーカ・サイレン音を確認した場所



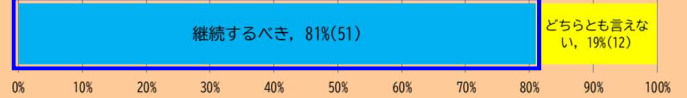
◆ 問4. スピーカからの音声の聞こえ方



◆ 問5. サイレンの聞こえ方

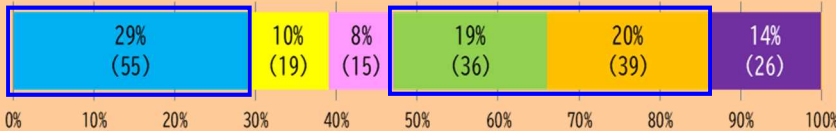


◆ 問6. ダム警報訓練の継続の必要性



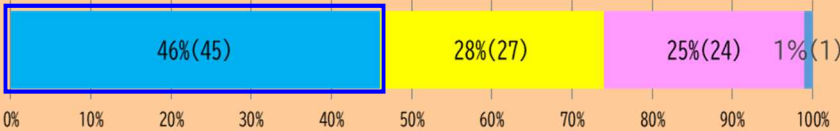
避難行動訓練

◆ 問7. 防災に関して、日頃から取り組んでいる内容（複数回答）



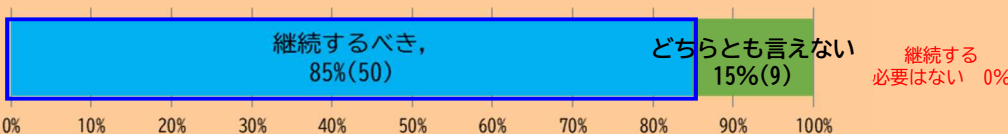
大半の方が「気象・災害情報入手を心掛け、危険箇所を把握」し、避難所までの避難ルートを事前に確認している。

◆ 問8. 避難行動訓練実施後の防災意識の変化（複数回答）



半数以上の方が「避難行動について再認識し、防災意識が向上」

◆ 問9. 避難行動訓練の継続の必要性



いのちとくらしをまもる 防災減災

ダム警報訓練・避難行動訓練については、関係市町村と連携し、令和5年度以降も継続実施する方針です





現場レポート第14弾



津軽ダム
イメージキャラクター
ペッカー君

～津軽ダム 岩木川下流流況調査に同行～

今回のレポートは、総務課の対馬です。日焼けも気にせずヘルメットおばさんは今日も行く！！

- 日時：令和4年5月2日(月)16日(月)30日(月)6月1日(水)
- 天気：全日程 晴れ☀️

岩木川ダム統管管理事務所では、昨年より津軽ダム直下流からポイントを決めて岩木川の水温変化を調査しています。今回は、かんがい期を迎えた5月の水温調査（4回）に同行させていただきました。何故短期間に4回も！？とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんね？

【かんがい期を迎えてから田んぼに水を供給する際には、なるべく温かい水を流した方が良いでしょう】とされているそうです。一般的に津軽地方での田植えは5/15～5/25頃に行われます。その後、生育時期でいう活着期（5/22～6/1頃）の水温は平均16℃以上、分げつ期（6/1～6/30頃）は平均水温19℃以上と青森県の稲作改善指導要領にも記載がありました。津軽ダムでは、選択取水設備を利用してその時期の目標温度を取水して放流しています。はたして、田んぼには適正温度の水を供給できているのでしょうか？

5/12 8.0℃



まだ寒い

まずはダム直下のポイントで採水・測定。ロープをつけたバケツで水を汲みます

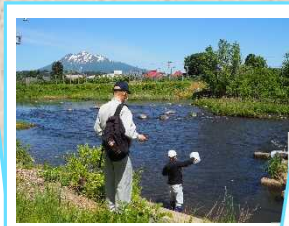


統合頭首工の取水口。ここから水路を通して各地に水を送っています！

バケツ3連投!!



流量の多いポイントは採水も大変そうでした



岩木山の形がポイント毎に変わっていきます



5月末には草木が生い茂って私は遠くから見守りました

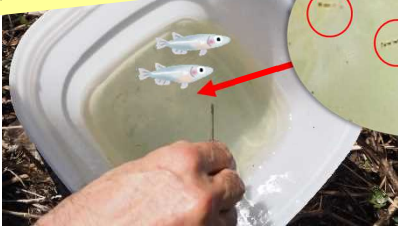
5月上旬は、雪解け水の影響が大きくダム直下流と五所川原方面では水温が3℃ほどしか変化しませんでした（支川からの流入などで水温は上がる傾向がありますが、融雪が多いと水温は上がらないようです）。しかし、温かい水を供給しなければいけないとされる下旬には、目標温度達成！！水温を計っていた工藤調査課長からも「お、いいな！」という言葉がでました☆岩木川の終点十三湖（水戸口）地点では、気温より水温が温かいという結果も出てびっくりです（日によるかもしれませんが、そして海水温の影響も？）。

このように、今回の調査では適正温度の水を供給できていました。岩木川ダム統管管理事務所では、今後もデータを集めて地域の皆様に役立つ適切なダム管理に努めてまいります。秋には、おいしいお米が食べられることを願っています♪



岩木川左岸幹線水路。余水も流れ込んでいた、かんがい用水路。

5/30 19.0℃



五所川原地点で採水すると、バケツにはメダカの赤ちゃんが！住みよい環境なのかな？

5/30 19.6℃



岩木川の終点、十三湖の水戸口。海水と混ざる地点。風は磯のニオイです

6/1 17.6℃



弘前市三和地区は、土淵堰（せえんぜき）が3方向に分派するポイント！



3年ぶりイベント開催決定!!

林野庁・国土交通省

令和4年度 森と湖に親しむ旬間

浅瀬石川ダム

7月31日(日)
浅瀬石川ダム



ダム湖ふれあいデー

カヌーでの「虹の湖湖面巡視体験」や様々なステージイベント等を実施予定です!

開催時間、受付時間等の詳細は、岩木川ダム統管理事務所ホームページや公式Twitterで随時情報公開します。



津軽ダム



7月23日(土)24日(日)
にしめやLAND 2022

西目屋村大型イベントとの協同開催! 津軽ダム会場では、津軽ダム堤体内部見学・模型実験・大型遊具・ライトアップ等実施予定です。

開催時間、受付時間等の詳細は、岩木川ダム統管理事務所ホームページや公式Twitter、西目屋村HPで随時情報公開します。

今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第4作目となる6月のお話は『お松の歌詠み』です。お殿様の前で歌を詠む事になった村の娘たち。継母にひどい扱いをされてきた娘の逆転ストーリー。



編集後記

木々の緑色がだんだん強くなり、目に眩しくなりました。刈り取りが定期的に来てくるので、季節に少し敏感になったような気がします。文章を作成する際は、推敲と校正を繰り返しますが、あっさり決まる時もあれば、何度やってもしっくりこない時があります。望みとしては、すらすら読めて、分かりやすく、ためになる岩木川ダム統管だよりにしたいのです。

もし私が文章の達人なら、秘訣を用い、早く上手に書けるのですが、今の私にできるのは何度も何度も地道に推敲と校正を繰り返す事のみです。達人の極意に覚醒せず、気づくと半年も半分過ぎようとしています。7月は七夕がありますので、今回のこの欄にはパンダと笹をあしらっています。努力しても自分の力だけではどうにもならない事はありますが、西目屋のきれいな星空を眺めると望みが叶うような気になります。(工藤)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2
TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito